

京都府立農芸高等学校

生命を育み、自然と調和し、未来の環境を築く

所在地 〒622-0059 京都府南丹市園部町南大谷
Tel 0771-65-0013 Fax 0771-65-0006

<http://www.kyoto-be.ne.jp/nougei-hs/>



学校概要



- 全日制課程(平成30年4月現在)
農業学科群…1年次共通
農産バイオ科・環境緑地科…2年次より
- 創立 昭和57年12月
- 生徒数(平成30年5月1日現在)

	1年	2年	3年	計
男	58	67	60	185
女	17	22	17	56

学校生活

- 授業
講義で得た知識をもとに実習に出ると、多くの発見をするとともに、さらに知りたくなってきます。理論と実験・実証を並行して学習することで、思考・判断・解決などの能力を身につけます。



- 学校行事
体育祭・臨地研修・農業鑑定競技会
農芸祭・校内意見発表会



- 修学旅行
沖縄方面:12月中旬(3泊4日)



- 制服
いろいろなところに、京都農芸だけのオリジナルデザインがあります。瑠璃色をメインカラーにし、洗練されたフォーマルなイメージの制服です。



- 寮教育
本校に入学した男子生徒は、船南寮で1年間の全寮制教育を受けます。寮生活を通じて正しいものの見方や考え方を体得することで、現状を理解し自己実現のために努力する姿勢を育みます。2年次からは希望により入寮することができます。



部活動

- 活動実績
パワーリフティング部
2017世界クラシックパワーリフティング選手権大会
女子サブジュニア63kg級の部
総合 銅メダル (種目別で銀メダルと銅メダル)
- 植物バイオ部**
第34回日本菊花全国大会
三本立て大菊12鉢花壇の部 大阪市長賞
福助花壇の部 大阪府市長会長賞
ニュージーランド大使館賞
- 畜産部**
2017 セントラルジャパンホルスタインショウ
第5部・第6部・第9部 優秀学校賞
- 造園部**
第12回若年者ものづくり競技大会「造園」職種
敢闘賞
- 文化系:合唱 茶道
- 体育系
硬式野球 サッカー 陸上競技 バドミントン
バスケットボール 剣道 硬式テニス 卓球 柔道
パワーリフティング
- 農業クラブ専門部
草花 畜産 造園 環境 情報処理 植物バイオ
野菜



進路状況

	H27年度	H28年度	H29年度
国公立4年制大学	1	2	1
私立4年制大学	15	15	18
国公立・私立短期大学	5	1	0
専修・各種学校	19	30	21
公務員	2	3	1
就職	37	40	40
その他	1	2	2

※現役生の進路状況(進路先別実数)

進学

京都教育大学(教育学部)、龍谷大学(農学部)、佛教大学(文学部)
酪農学園大学(農食環境学群)、南九州大学(健康栄養学部)
東京農業大学(生物生産学部、地域環境科学部)、花園大学(社会福祉学部)、京都文教大学(総合社会学科)、大阪商業大学(経済学部)、京都学園大学(バイオ環境学部、経済経営学部、健康医療学部)

就職

京都府職員(初級土木)、南丹市職員(初級土木)
水谷建設、フォービル、河原造園、植籐造園、河原勝庭園、花豊造園(植熊)、虎屋、山崎製パン、湖池屋、雪印メグミルク、亀岡電子、ユニチカ、石井食品、コカ・コーラウエストプロダクツ、日本郵便近畿支店、佐川急便、京都日野自動車、志津屋、西利、さとう、溪山閣、渡月亭、キャピタル東洋亭、JR西日本交通サービス、

地図



京都市立農芸高等学校

(平成31年度の予定設置学科及びコース)

設置 学科等	全日制	農産バイオ科	作物コース・野菜コース・草花コース 畜産コース・植物バイオコース・動物バイオコース																														
	全日制	環境緑地科	造園コース・農業土木コース																														
教育 目標	 <p>校訓「質実剛健」のもと、次の3つを目指す京都農芸生を育成する。 「夢と希望を持ち 未来を展望する力をもつ」 「生命を慈しみ 他を思い遣り、つながる力をもつ」 「質実剛健の気風を培い、挑戦し続ける力をもつ」</p>																																
学校 の 特色	<p>○京都府で唯一の農業科の専門高校 全ての生徒が農業に関わる学習をしています。同じ目標を持つ生徒が互いに協力して農業の学びを深めることができる学校は農芸高校だけです。</p> <p>○学習のための寮を持つ学校 男子1年生は寮生活を送ります。寮生活では規律や責任感、協調性や自律心を学びます。</p> <p>○自然環境豊かな学校 学校の周囲に学習対象があふれています。自然が身近にあり、生命や環境について、実物に触れながら学習できます。</p>																																
教育 シ ス テ ム	<p>○専門教科の学習 1年次は全ての生徒が同じ科目を学習します。 2年次より専門コースに分かれ専門能力の向上を図ります。 3年次は自らの興味関心の高い課題を設定し、解決に向けた研究活動を積極的に進めます。</p> <p>○進学に向けた指導 コース学習で専門性を高めるとともに2年生からは大学進学に向けた「発展系」で普通教科の学力向上を目指します。発展系は進学に必要な英語・数学・理科を多く学習でき、進学者のほとんどが発展系を選んでいます。</p> <p>○教育寮の活用 船南寮では毎日2時間の学習時間が設定されています。全ての寮生はこの時間、学校の課題や進学に向けた学習に取り組みます。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>1年生</p> <p>農業学科群</p> <p>1年次では全ての生徒が同じ学習を行います。コースに分かれ、学科が決まるのは2年生になってからです。</p> </div> <div style="flex: 2;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年生</th> <th>2年生</th> <th>3年生</th> <th>所属科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作物コース</td> <td>作物コース</td> <td>作物コース</td> <td rowspan="6">農産バイオ科</td> </tr> <tr> <td>草花コース</td> <td>草花コース</td> <td>草花コース</td> </tr> <tr> <td>植物バイオコース</td> <td>植物バイオコース</td> <td>植物バイオコース</td> </tr> <tr> <td>動物バイオコース</td> <td>動物バイオコース</td> <td>動物バイオコース</td> </tr> <tr> <td>畜産コース</td> <td>畜産コース</td> <td>畜産コース</td> </tr> <tr> <td>野菜コース</td> <td>野菜コース</td> <td>野菜コース</td> </tr> <tr> <td>農業土木コース</td> <td>農業土木コース</td> <td>農業土木コース</td> <td rowspan="2">環境緑地科</td> </tr> <tr> <td>造園コース</td> <td>造園コース</td> <td>造園コース</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <p>各コースの定員は13~15人です。1年生の9月に希望を聞いた上でコース登録を行います。</p> <p>2年生で決まったコースは途中変更できません。2、3年生でコース学習を継続し、専門性を高めることを目指します。</p> </div> </div> </div>			1年生	2年生	3年生	所属科	作物コース	作物コース	作物コース	農産バイオ科	草花コース	草花コース	草花コース	植物バイオコース	植物バイオコース	植物バイオコース	動物バイオコース	動物バイオコース	動物バイオコース	畜産コース	畜産コース	畜産コース	野菜コース	野菜コース	野菜コース	農業土木コース	農業土木コース	農業土木コース	環境緑地科	造園コース	造園コース	造園コース
1年生	2年生	3年生	所属科																														
作物コース	作物コース	作物コース	農産バイオ科																														
草花コース	草花コース	草花コース																															
植物バイオコース	植物バイオコース	植物バイオコース																															
動物バイオコース	動物バイオコース	動物バイオコース																															
畜産コース	畜産コース	畜産コース																															
野菜コース	野菜コース	野菜コース																															
農業土木コース	農業土木コース	農業土木コース	環境緑地科																														
造園コース	造園コース	造園コース																															
学科 決定	<p>1年次は、農業学科群で、3クラス編成。2年次より、生徒の希望などを参考に総合的に判断し、農産バイオ科2クラス、環境緑地科1クラス編成となります。</p> <p style="text-align: right;">※クラス数は平成30年度実績</p>																																